

下北山村フットボールヴィレッジ基本構想・計画策定業務委託
プロポーザル受託者選定評価基準

審査項目	配点	評価内容	評価				
			特に良い	良い	普通	やや劣る	劣る
業務内容の理解度	10	業務目的、業務内容について十分に理解した上での提案となっているか。	10	8	6	4	2
企画内容	60	<課題・強み> 奈良県、下北山村の現状を理解した上で、課題・強みが整理されており、課題を解決する適切な提案がなされているか	10	8	6	4	2
		<ヒアリング> ヒアリング予定の相手先は、十分な実績や必要な能力を有した、実施可能な相手となっているか。	10	8	6	4	2
		<全体運営方法及び事業展開> フットボールヴィレッジ全体の運営手法や合宿の誘致手法、関係人口を創出するための手法や、それぞれの人材を育成する手法は、効果性が高く、実現可能で魅力的な提案となっているか。	20	16	12	8	4
		<整備・運営手法> 想定される宿泊施設やその他の拠点施設の機能、整備手法や運営手法は、実現可能で魅力的な提案となっているか。	20	16	12	8	4
スケジュール	10	<スケジュール> 構想策定までのスケジュールは、実現可能なものとなっているか。	10	8	6	4	2
執行体制	5	業務執行のために適切な人員配置となっているか。 また、役割分担が妥当か。	5	4	3	2	1
業務実績	5	同種又は類似の業務実績及び本事業に必要な知見、専門知識、ノウハウを有しているか。	5	4	3	-	
価格	10	契約上限額と同額の見積価格を6点とし、見積価格が契約上限額から一定率（2%）下がるごとに1点ずつ加点（上限10点）	10～6				

※審査委員の合計点を集計し、最高点のものを受託予定者とします。

ただし、全ての項目について審査委員の評価の合計点が6割以上であることを受託者の条件とします。

※提案者が1者の場合、全ての項目について審査委員の評価の合計点が6割以上であるか評価し、受託者を決定します。